

## 仮想ライブラリ装置 ~disk-based backup~ REOシリーズ



型番 UN-REO1000

メーカー標準価格 1,092,000円(税込)~  
(本体価格 1,040,000円~)  
WEB・直販価格 お問い合わせ下さい



型番 UN-REO4000

メーカー標準価格 2,310,000円(税込)~  
(本体価格 2,200,000円~)  
WEB・直販価格 お問い合わせ下さい



型番 UN-REO9000

メーカー標準価格 4,305,000円(税込)~  
(本体価格 4,100,000円~)  
WEB・直販価格 お問い合わせ下さい



### ■ 概要 ■

Overland REOシリーズは、テープベースのバックアップ環境のスピード及び効率を向上させる仮想テープライブラリです。従来のRAID装置またはNAS上にバックアップソフトウェアを用いるVTLの場合はファイルシステム上にテープをエミュレーションしていました。そのため、初期や拡張時の構築に時間がかかり、また、バックアップ処理では、パフォーマンスの低下が発生し非効率でした。Overland REOシリーズでは、装置を直接LTO2ドライブとして認識させる事でバックアップサーバの負荷低減しバックアップ/リストアスピードの向上、運用の容易さを実現しました。

また、ホストインターフェイスには、iSCSIを選択でき、既存ネットワークやバックアップ環境にスムーズに導入する事が可能です。

### ■ 特長 ■

#### 仮想デバイス(Flexible Virtual device)

ProtectionPACソフトウェアによりWebブラウザから最大64の仮想デバイス(仮想LUN)を、LTO-2ドライブまたはライブラリ、ネイティブディスクエリアとして割り当てることが可能です。また、それぞれの領域は共存させる事が可能です。

#### iSCSI

ホストインターフェイスは、iSCSIまたは2Gbit/sFCに対応し、既存の設備投資を無駄にすることなく、最適なバックアップ環境の構築の実現が可能です。

#### MultiSitePAC(オプション機能)

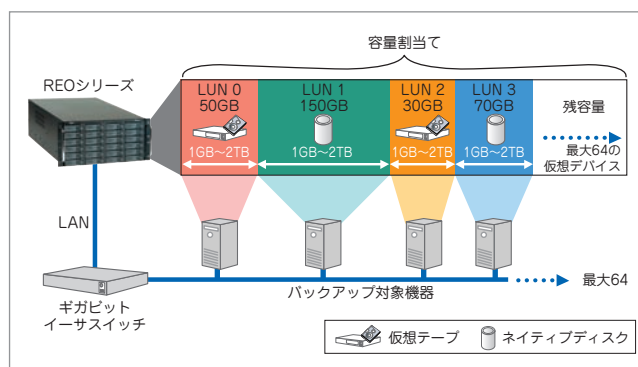
バックアップされた仮想テープのコピーを自動的にリモートサイトのREOシリーズに作成するオプション・ソフトウェア機能です。遠隔地への災害対策や本支社間のバックアップ統合が可能です。

#### NetVaultとの連携

バックアップソフトウェア「NetVault」を用いる事により、設定運用が容易なGUIからスケジュールリングによる自動化や異OS間からのバックアップ統合などにより高度な運用が可能です。

#### ダイナミックヴァーチャルテープ(DVT)

動的に個々のバックアップジョブのサイズに合わせて仮想テープドライブの容量の割り当てを行います。不要なスペースを消去することによってストレージ容量を有効に使用することが可能です。



### ■ 仕様 ■

製品名	REO1000	REO4000	REO9000	
容量(RAID5構成時容量)	1TB(750GB) or 2TB(1.5TB)	2TB(1.5TB) or 4TB(3TB)	3TB(2.5TB) or 6TB(5TB) or 12TB(10TB)	
搭載ディスク	250GB×4 or 500GB×4	250GB×8 or 500GB×8	250GB×12 or 250GB×24 or 500GB×12 or 500GB×24	
ホストインターフェイス	iSCSI(1 Gb Ethernet)のみ	iSCSI(1 Gb Ethernet) or FC(2Gb LC)		
RAIDレベル	0,5	0,5	0,5	
LUNサポート	最大64仮想LUN			
電源仕様	電圧	90~120VAC, 200~240VAC (+/-10%)		
	周波数	47~63Hz		
	消費電力VA(W)	最大450VA(200W)	最大700VA(277W)	最大1500VA(525W)
物理仕様	寸法HxWxD(cm)	1U(4.45×43.18×68.58)	2U(8.89×43.18×68.58)	5U(22.2×43.3×68.6)
	重量	20.5kg	25.4kg	73kg

#### LTO3 / LTO2 / SDLT テープライブラリ装置



#### NEO2000 シリーズ

型番 UN-LXN2130T2UL1  
メーカー標準価格 4,305,000円(税込)~  
(本体価格 4,100,000円~)  
WEB・直販価格 お問い合わせ下さい

長期保存を目的としたアーカイブ用データは、静的メディアに行う必要があります。直接、業務サーバから行わず、REOシリーズ上に行われたデータから実行する事で静的メディアの弱点である書込み速度やメディア管理について、業務システムの負荷や運用に影響を与えず柔軟なバックアップポリシーを作成する事が可能です。

※仕様等の詳細情報は弊社HPをご覧ください。